

平成29年度指定管理運営業務評価票

施設名称：稲スポーツセンター	指定管理者：社会福祉法人大阪府障害者福祉事業団	指定期間：平成26年4月1日～平成30年3月31日	所管課：福祉部障がい福祉室自立支援課
----------------	-------------------------	---------------------------	--------------------

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言
			S～C		S～C	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">「提案の履行状況に関する項目</p> <p>(1)施設の設置目的及び管理運営方針</p>	<p>① 施設の設置目的及び管理運営方針に沿って運営しているか</p>	<p>①</p> <p>■事業提案にてお示した「施設の管理運営を実施する際の基本方針」に基づき、自己決定と自己選択による利用者本位のサービス提供の考えのもと、障がいのある方々にスポーツ、文化・レクリエーション活動を提供し、社会参加の促進を図っている。</p> <p>スポーツ事業では、利用者のスキルに応じて、そのきっかけを作ることを目的とした事業、競技志向やスキルアップを目指すことを目的とした事業を継続して実施した。</p> <p>文化事業では、年齢・年代にあったプログラムを継続して実施した。また、音楽的要素と身体的活動要素を組み合わせた和太鼓、落ち着いた環境で丁寧に文字を書くという取り組みで書き方、作品作りを通しての達成感や趣味としての広がりを持つプログラムを実施した。</p> <p>スポーツ事業：エンジョイスポーツプログラム、バドミントン練習会、ショートテニス練習会、フライングディスク練習会、障がい児体操教室（キッズクラブ・サマーキッズ）、スポーツ教室（ショートテニス、ジョニアクラブ、バスケットボール、卓球）、卓球サークル、ビームライフル射撃サークル、バスケットサークル、卓球スキルアップ練習会、フライングディスクスキルアップ練習会、エアロビクスダンスⅠ・Ⅱ、エンジョイダンス、卓球大会、いきいき健康体操</p> <p>文化事業：手作りおやつ教室、クラフト教室、音楽関係教室、和太鼓教室、ラフターヨガ、ジャンベクラブ、書き方教室、メイクアップ体験会、コンサート事業、DVD鑑賞会（新規）</p> <p>■質の高いプログラムを提供するため、専門知識や技術をもつボランティア講師と協働で各事業に取り組んでいる。</p> <p>スポーツ事業：ショートテニス、エアロビクスダンス、エンジョイダンス、卓球、ビームライフル射撃</p> <p>文化事業：手作りおやつ教室、クラフト教室、音楽関係教室、和太鼓教室、ラフターヨガ、ジャンベクラブ、メイクアップ体験会、コンサート事業、書き方教室、DVD鑑賞会</p> <p>■「障がい者の理解」、「交流と参加」、「地域福祉」などについて府民の意識が深められるよう、障がい者と健常者がともに活動できる交流参加型の事業やボランティア講師との協働事業等を通じて啓発に努めている。</p> <p>交流参加型事業：クラフト、ラフターヨガ、ジャンベクラブ、書き方教室、メイクアップ体験会、コンサート事業、DVD鑑賞会</p>	A	<p>【評価の目安】</p> <p>S → 提案内容以上の具体的な実績をあげている</p> <p>A → 提案内容どおりの事業実績をあげている</p> <p>B → 提案内容どおりの事業実施予定で、実施する見通しが立っている</p> <p>C → 提案内容事業を実施する見通しが立っていない。</p>	A	

活動展 : 各事業の写真展示・発表・作品展示

■利用者からの要望や苦情については「ご意見箱」を設置し、意見を収集するとともに、事業終了後にプログラム内容や指導方法についてのアンケート調査を実施するなど、利用者に満足いただけるプログラム提供と障がい特性に応じた支援に役立てている。苦情への対応については、苦情解決体制設置要綱に基づき第三者委員を設置するなど、解決システムを確立している。

■H29年4月～11月における教室後のアンケート実績

障がい児体操教室(キッズクラブ、サマキッズ)、スポーツ教室(バスケットボール、ダンス、ショートテニス)、音楽関係教室(音楽クラブ、音楽レクリエーション教室)、書き方教室、和太鼓体験教室 計 9教室

参加者数 121人 アンケート回答数 66人 回答率 55%

教室の満足度			スタッフの対応		
大変満足	31人	47%	34人	52%	
満足	26人	39%	24人	36%	
やや満足	4人	6%	3人	5%	
ふつう	5人	8%	4人	6%	
やや不満	0人	0%	0人	0%	
不満	0人	0%	0人	0%	
無回答	0人	0%	1人	2%	

意見、要望

- ・各教室の回数を増やしてほしい。

↓

回答 開催日が、土日祝に限られており、コマ数に制限があるため、大幅な増は困難である。

平日の夜間開催、2教室以上の同時開催、学校長期休暇中の開催等を視野に入れ、展開を図りたい。

- ・小学生向けの教室を増やしてほしい。

↓

回答 開催可能日が、限られており、学校の長期休み期間の利用や、可能な範囲での中学生以上対象の教室の年齢制限削除等に対応していきたい。

- ・教室への参加申し込み方法、抽選結果の通知方法等の簡略化等、検討してほしい。

↓

回答 現在、申し込みは Fax 及び直接申し込みで、結果は郵送で対応しております。

今後は、インターネット・メール配信の併用を検討しております。

■今年度の事業予定回数と実績 * () 内は H28 年度実績

	スポーツ事業	文化事業
年間予定回数	322 (312)	112 (86)
実施回数 (H29年11月30日現在)	225	75
今後の予定回数	97	37

② 指定管理者として、社会貢献活動、環境活動などを積極的に行っているか。また、関係法令を遵守しているか

②

【社会貢献活動】

○稲スポーツセンターにおける取り組み

■障がい者スポーツ指導員・レクリエーションインストラクター資格取得認定校である専門学校 大阪医専と連携し、資格取得を目指す学生に対して実習の場を提供している。

- ・障がい者スポーツ指導員資格取得のための実習生 12人
- ・レクリエーションインストラクター資格取得のための実習生 12人

H29年11月30日現在

■障がい者スポーツ物品や楽器等の貸し出しを行い、地域での障がい者スポーツの振興や文化活動を支援している。

H29年度11月30日現在、実績6団体 計10回。

- ① 近隣地域の福祉事業所やボランティア団体へのポッチャ用具
・福祉用具の貸出
- ② 地域の障がい者団体への放送器具の貸出
- ③ 公立の障がい者福祉センターへのフライングディスク用具の貸出
- ④ 音楽療法活動団体への楽器の貸出
- ⑤ 地域小学校へのツインバスケットゴールの貸出

○大阪府障害者福祉事業団における取り組み

■障がい者理解のための啓発活動の一環として、地元小学校へ講師を派遣し、「障害のある人たちと共に」というテーマで授業を行い、障がい者理解に向けた啓発を行っている。

■福祉専門職（社会福祉士、保育士、ホームヘルパー、ガイドヘルパー等）養成のための実習生を積極的に受け入れている。

(H29年11月30日現在の延べ受入れ人数35人。

H29年度年間延べ47人を受入れ予定。)

■民生委員・児童委員(107人)、各学校教師(39人)、学生等(12人)、その他(61人)の施設見学を積極的に受け入れ、障がい福祉の啓発に努めている。

■支援に携わる職員に新しい必要な知識を修得させるための専門研修(「発達障がい支援」等)を、福祉事業所や行政機関等の職員も参加できるようオープン化し、専門性の向上に寄与している。

■ボランティアを積極的に受け入れることにより、障がい者理解の啓

②指定管理者として、実習生の受入や研修の実施、障がい者理解のための啓発活動などの社会貢献活動を積極的に実施しており、環境活動についても、各事業所に節電・省エネ活動担当者を配置するなど、取り組んでいる。

また、施設管理や個人情報等関係法令を遵守した運営を行っている。

		<p>発、ボランティアリーダーの育成、また、障がい者支援のノウハウの提供など、ボランティアの育成に努めている。</p> <p>■学生ボランティアとの協働で、在宅障がい児にレクリエーションの場の提供と入所児との交流を行う療育キャンプをこんごう福祉センター内で年3回実施した。</p> <p>■町会の行事に、施設の設備等を提供している。</p> <p>■災害発生時における福祉避難所の指定及び設置運営について、拠点事業所とその所在市（河内長野市、泉大津市、守口市、大阪狭山市、松原市）とで協定を締結し、事業所の有する社会資源を地域に開放している。</p> <p>■大阪府社会福祉協議会「大阪しあわせネットワーク社会貢献基金」に拠出している。</p> <p>■これまで事業団が培ってきたノウハウを広く還元するため、昨年度に引き続き12月に福祉事業所や行政機関等の職員や家族、地域の方々も参加できる「障がい福祉セミナー」を開催した。 テーマ：豊かな地域生活のために H29年参加者 245人（※H28年参加者 232人）</p> <p>■第15回世界音楽療法大会ポスター発表事例研究へ発表演題として採択され、平成29年7月の開催時に発表した。 テーマ：変則チューニングのかんたんギター奏</p> <p>【環境活動】</p> <p>■大阪府障害者福祉事業団節電・省エネ実行基本方針に基づき、それを実効あるものとするために各事業所に節電・省エネ推進担当者を置き節電・省エネに取り組んでいる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) エアコンの使用については、冷房28度・暖房20度の設定を行っている。 2) デマンド監視装置を設置し、使用電力量の抑制に努めている。 3) 使用していない部屋や箇所の電灯をこまめに消し、休憩時間中は消灯、節電に努めている。 4) 事業所内の節水に努めている。 5) コピー用紙の使用は両面印刷を基本とし省資源に努めている。 6) 段ボールや古新聞などは、回収し、リサイクル事業所等に提供している。 7) 行政の指導を踏まえごみの分別収集を実施している。 8) 府立障がい児施設以外でのLED化を実施し、使用電力の削減に努めている。 <p>【法令遵守】</p> <p>■稲スポーツセンター設置条例及び施行規則に基づき、適正な運営を行っている。</p> <p>■建物、設備については消防法や建築基準法等に基づき、また、労務関係については労働基準法等に基づき、適正な管理を行っている。 情報公開については、個人情報保護規程や情報公開実施要綱等に基づき、適正な対応を行っている。</p> <p>■大阪府立こんごう福祉センター条例、大阪府立こんごう福祉センタ</p>		
--	--	--	--	--

		<p>一条例施行規則、障害者総合支援法、児童福祉法、障害者差別解消法、障がい者虐待防止法、指定障害福祉サービスの人員、設備及び運営に関する基準等を遵守し、利用契約書・重要事項説明書を作成して個々の利用者ニーズに応じた個別支援計画に沿って利用者本位の適切な支援を行っている。</p> <p>■情報公開については、改正社会福祉法に基づき、法人の概要を示す書類（定款、事業計画、事業報告、決算書等財務状況を示す書類等）をホームページや備え置きにて公表するとともに、個人情報保護規程や情報公開実施要綱等に基づき、適正な対応を行っている。</p> <p>■苦情解決体制設置要綱に基づき、第三者委員を置くなど、利用者からの苦情解決に対するシステムを確立し適切に運用している。</p> <p>■労働基準法及び労働安全衛生法に基づき職員の安全と健康を保持するとともに、災害及び事故の未然防止に努めている。また、11月にはストレスチェックを実施した。</p>		
<p>(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果</p>	<p>① 公平なサービス提供、対応を行っているか</p>	<p>①</p> <p>■施設の利用が特定の団体やグループに偏ることなく、より多くの府民が公平に利用機会を持てるよう努めている。</p> <p>■プログラムについては、障がいのある児童から高齢者まで、障がい特性に応じて選択できるプログラムや障がい者と健常者がともに活動できる交流参加型事業など多岐にわたり提供している。</p>	<p>①施設利用の申込みルールや提供プログ</p>	

	<p>② 障がい特性に応じた配慮は適切か</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>障がい特性</th> <th>主なプログラム</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・知的障がい ・発達障がい（協調性運動障がい）</td> <td>障がい児体操教室（キッズクラブ サマーキッズ） エンジョイスポーツプログラム（トランポリン）</td> </tr> <tr> <td>・高齢障がい者</td> <td>いきいき健康体操</td> </tr> <tr> <td>・用具の使用やルール理解が苦手な方</td> <td>エアロビクスダンスⅠ・Ⅱ、エンジョイダンス</td> </tr> <tr> <td>・激しい運動に制限のある方 ・車いす利用者</td> <td>ビームライフル射撃サークル</td> </tr> <tr> <td>・対人で取り組むことが苦手な方</td> <td>フライングディスク練習会、</td> </tr> <tr> <td>・運動が苦手な方 ・歩行が困難な方 等</td> <td>文化教室</td> </tr> <tr> <td>・交流参加型</td> <td>クラフト、ラフターヨガ、ジャンベ、書き方、メイク体験、コンサート事業、DVD鑑賞</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ホームページ等可能な限りの媒体を使用して施設の利用状況や事業内容についての情報を発信している。</p> <p>②</p> <p>■障がい者利用の内、知的障がい児者の利用が81.6%と大半を占めているため、これまで事業団が培ってきた知的障がい者への支援についてのノウハウを活かし、支援を行っている。</p> <p>(1)発達障がい児、重度知的障がい児への配慮として、絵カードを使用することにより、プログラムの流れや内容が分かりやすくなるよう工夫している。</p> <p>(2)ポスターやチラシにルビをふり、多くの利用者が読みやすいようにしている。</p> <p>(3)障がい特性に応じた支援・指導を常に考慮し、利用者が安心してスポーツ、文化活動に取り組める環境を提供している。</p> <p>(4)プログラム実施前に職員とボランティア講師とでミーティングを行い、指導上の配慮の確認及び安全確保を徹底するとともに、プログラム実施後には支援方法等についての振り返りや次回に向けた打ち合わせなどを行い支援の向上を図っている。</p> <p>■事前に利用者の障がい特性を確認し、体調にも留意しながらプログラムを提供している。</p> <p>■施設内に、車いす利用者にも確認しやすい高さに掲示板を設置し、情報を提供している。</p>	障がい特性	主なプログラム	・知的障がい ・発達障がい（協調性運動障がい）	障がい児体操教室（キッズクラブ サマーキッズ） エンジョイスポーツプログラム（トランポリン）	・高齢障がい者	いきいき健康体操	・用具の使用やルール理解が苦手な方	エアロビクスダンスⅠ・Ⅱ、エンジョイダンス	・激しい運動に制限のある方 ・車いす利用者	ビームライフル射撃サークル	・対人で取り組むことが苦手な方	フライングディスク練習会、	・運動が苦手な方 ・歩行が困難な方 等	文化教室	・交流参加型	クラフト、ラフターヨガ、ジャンベ、書き方、メイク体験、コンサート事業、DVD鑑賞	A	<p>ラム内容の工夫、利用状況や事業内容の情報発信により、公平なサービス提供に努めている。</p> <p>②指定管理者が持つ障がい者に対する支援のノウハウやプログラムの実施などを通じて、障がい特性に応じたきめ細やかな配慮が行われている。</p>	A	
障がい特性	主なプログラム																					
・知的障がい ・発達障がい（協調性運動障がい）	障がい児体操教室（キッズクラブ サマーキッズ） エンジョイスポーツプログラム（トランポリン）																					
・高齢障がい者	いきいき健康体操																					
・用具の使用やルール理解が苦手な方	エアロビクスダンスⅠ・Ⅱ、エンジョイダンス																					
・激しい運動に制限のある方 ・車いす利用者	ビームライフル射撃サークル																					
・対人で取り組むことが苦手な方	フライングディスク練習会、																					
・運動が苦手な方 ・歩行が困難な方 等	文化教室																					
・交流参加型	クラフト、ラフターヨガ、ジャンベ、書き方、メイク体験、コンサート事業、DVD鑑賞																					
<p>(3)利用者の増加を図るための具体的手法・効果</p>	<p>利用者増加のための工夫をしているか（ex.平日稼働率の向上）</p> <p>【指標】 利用者数（前年同月との比較）、稼働率（前年同月との比較）</p>	<p>【広報】</p> <p>■利用者の増加を図るため、以下の取り組みを行っている。</p> <p>(1)ホームページで施設案内、事業案内などリアルタイムに情報を発信している。</p> <p>(2)事業案内や機関紙「チャレンジ」を大阪府内の障がい者団体、関係機関、支援学校、近隣の福祉事業所、箕面市内の支援学級、知的障害自立支援コース設置校、共生推進教室設置校等など177か所に配布している。</p> <p>直接案内が伝わるよう広報の強化に努めた。</p>		<p>機関紙「チャレンジ」の配布部数を300部増やすなど、広報の強化に努めている。また、昨年同期と比較して稼働率は減少しているものの、利用者数は増加している。</p>																		

			<p>機関紙(チャレンジ)発行回数・部数：年3回、(平成27年度1000部/回、平成28年度1200部/回、平成29年度1500部/回、)学校から機関紙の案内を見ての申込・問い合わせが増えたことや他の障がい者関係機関で機関紙を見た方の申込みもあった。</p> <p>(3)箕面市の広報紙やみのおコミュニティ放送を活用し、広報を実施している。近隣市は、所在が箕面市であるため、掲載不可。</p> <p>(4)稼働率を向上させるため、福祉事業所や職業訓練校、また、支援学校等に利用案内を行うとともに、ホームページで利用情報が確認できるよう、利用予定表を掲載している。</p> <p>【スポーツ事業】</p> <p>■利用者一人ひとりのニーズ、スキルに応じた段階的なプログラムを構築し、利用者が自分に合ったプログラムを選択できるようにしている。</p> <p>(1)初心者プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エンジョイスポーツプログラム (バドミントン、ショートテニス、フライングディスク、風船バレー、トランポリン) ・スポーツ講習会(各教室・サークル等において体験利用として実施) <p>(2)スキルの獲得を目指すプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室 (バドミントン、ショートテニス、バスケットボール、ジュニアクラブ) <p>(3)継続した取り組みができるサークル活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卓球、バスケットボール、エアロビクスダンス、ビームライフル射撃サークル <p>(4)スキルの向上を目指すプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップ練習会{卓球、ショートテニス、フライングディスク}、ビームライフル射撃サークル <p>(5)練習の成果を試す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲スポーツセンター杯卓球大会の開催 ・障がい者スポーツ大会・全日本障害者ライフル射撃大会への出場支援 <p>(6)基礎体力の維持、向上を図るプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング講習会 <p>(7)遊びを通じた体力作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい児体操教室(キッズクラブ、サマーキッズ) ・スポーツ教室(ジュニアクラブ) <p>【文化事業】</p> <p>■趣味として楽しむことのできる活動を提供している。</p> <p>(1)手作りおやつ教室(平日・土曜に月2日間開催)</p> <p>(2)クラフト教室(カレンダー作り、インテリアデコング、ビーズクラフト、張り子)</p> <p>(3)音楽関係教室(音楽療法士らによる年齢別プログラムの提供)</p> <p>(4)和太鼓教室</p> <p>(5)ラフターヨガ</p>	A		A	
--	--	--	--	---	--	---	--

- (6)ジャンベクラブ
- (7)書き方教室
- (8)メイクアップ体験会
- (9)コンサート事業

【交流参加型事業】

■障がい者と健常者がともに参加できる事業を通じ、障がい者理解を深めている。

- (1)クラフト教室（インテリアカーデニング、ビーズクラフト、張り子）
- (2)ラフターヨガ
- (3)ジャンベクラブ
- (4)書き方教室
- (5)メイクアップ体験会
- (6)コンサート事業
- (7)DVD鑑賞会

■障がい者理解を促進する啓発活動の一環として、あいあいプラザまつりを共催する。（H29年10月28日開催）

（来場者数721人）

■稲スポーツセンターの事業内容を広く知ってもらうため、文化事業で制作した作品やスポーツ事業の写真などの活動展を平成30年3月に開催予定。

【利用者数】

単位：人

	スポーツ事業	文化事業	交流参加型事業	自主事業	貸館	合計
28年度	10,269 (7,022)	1,274 (827)	2,349 (813)	83 (72)	18,600 (12,235)	32,575 (20,969)
29年度	(7,479)	(799)	(697)	(71)	(13,602)	(22,648)

*（ ）内 H29年4月～11月実績

【月別利用者数】

単位：人

月	利用者数	月	利用者数
4月	2,539 (2,525)	10月	4,060 (3,135)
5月	2,439 (2,119)	11月	2,948 (2,943)
6月	2,466 (2,565)	12月	(2,678)
7月	2,930 (3,057)	1月	(2,488)
8月	2,751 (2,464)	2月	(2,375)
9月	2,515 (2,281)	3月	(4,065)

		<table border="1"> <tr> <td>小計 (4月～9月)</td> <td>15,640 (15,011)</td> <td>合計 (年間)</td> <td>(32,575)</td> </tr> </table> <p>* ()内は H28 年度実績</p> <p>【交流参加型事業の利用者内訳】</p> <p>障がい者(介護者を含む) 1,523人 <u>一般利用者</u> 71人 合計 1,594人</p> <p>【稼働率】 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>体育館</th> <th>会議室</th> <th>多目的</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">H28年</td> <td>全体</td> <td>86.1</td> <td>26.1</td> <td>35.4</td> </tr> <tr> <td>障がい者団体占有率</td> <td>57.3</td> <td>82.1</td> <td>61.4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H29年 4月～11月</td> <td>全体</td> <td>80.8</td> <td>25.9</td> <td>34.5</td> </tr> <tr> <td>障がい者団体占有率 夜間</td> <td>64.2</td> <td>83.8</td> <td>70.7</td> </tr> </tbody> </table>	小計 (4月～9月)	15,640 (15,011)	合計 (年間)	(32,575)			体育館	会議室	多目的	H28年	全体	86.1	26.1	35.4	障がい者団体占有率	57.3	82.1	61.4	H29年 4月～11月	全体	80.8	25.9	34.5	障がい者団体占有率 夜間	64.2	83.8	70.7			
小計 (4月～9月)	15,640 (15,011)	合計 (年間)	(32,575)																													
		体育館	会議室	多目的																												
H28年	全体	86.1	26.1	35.4																												
	障がい者団体占有率	57.3	82.1	61.4																												
H29年 4月～11月	全体	80.8	25.9	34.5																												
	障がい者団体占有率 夜間	64.2	83.8	70.7																												
(4)サービスの向上を図るための具体的手法・効果	提案したサービスの向上を図るための取り組みを行っているか	<p>【クラフト教室の充実】</p> <p>■クラフト 利用者の意見を踏まえ、カード作りやビーズアクセサリー作り、風鈴作り、張り子作り等を実施した。</p> <p>■インテリアガーデニング H28年度の反省（参加者が少数）から、内容の見直し、参加者を増やすための情報提供として、通路に写真を掲示したり、受付に作品を置くことなどを行い、参加者増で開催することができた。</p> <p>【スポーツ指導員の派遣・養成並びに他の施設等との連携】</p> <p>■障がい者スポーツ指導員・レクリエーションインストラクター資格取得認定校である専門学校 大阪医専と連携し、資格取得を目指す学生に対して実習の場を提供している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がい者スポーツ指導員資格取得のための実習生 12人 レクリエーションインストラクター資格取得のための実習生 12人 <p>H29年 11月30日現在</p> <p>■障がい者理解を深めるため、障がい者施設や職業訓練校で作成した作品等の販売コーナーを設け、啓発活動に取り組んでいる。</p> <p>■障がい者スポーツ物品や楽器等の貸し出しを行い、地域での障がい者スポーツの振興や文化活動を支援している。H29年度 11月30日実績現在 6団体 計10回。(I-(1)-②の再掲)</p> <p>① 近隣地域の福祉事業所やボランティア団体へのポッチャ用具 ・福祉用具の貸出</p> <p>② 地域の障がい者団体への放送器具の貸出</p>	A	提案にあったスポーツ、文化・レクリエーション事業の実施について、提案通りに実施している。 また、利用者の要望や教室の案内方法を工夫するなど、より利用者の方々に満足してもらえるよう取り組んでいる。	A																											

		<p>③ 公立の障がい者福祉センターへのフライングディスク用具の貸出 ④ 音楽療法活動団体への楽器の貸出 ⑤ 地域小学校へのツインバスケットゴールの貸出</p> <p>【その他のサービスを向上させる取り組み】</p> <p>■利用者からの要望や苦情については「ご意見箱」を設置し、意見を収集するとともに、事業終了後にプログラム内容や指導方法についてのアンケート調査を実施するなど、利用者に満足いただけるプログラム提供と障がい特性に応じた支援に役立てている。(I-(1)-①の一部再掲)</p> <p>■利用者満足度調査を12月中旬から約1か月間で実施予定</p> <p>■障がい者が安心してスポーツ・文化活動に取り組めるよう、一人ひとりの障がい特性に応じた支援を行っている。(詳細はI-(2)-②)</p> <p>■障がいのある方に「生の音楽を聴いていただきたい」との思いから、7月にふれあいコンサートを実施。演歌から、現代歌謡ポップスと幅広いジャンルの音楽を提供できる出演者を選定し、観客参加型にて開催した。参加者数134人 入場者数人、12月17日にはクリスマスコンサートを実施予定。</p> <p>■重度の障がいのある方が気軽に参加でき、楽しみ、社会参加を図ることを目的としたレクリエーション大会を、大阪医専のボランティア協力を得て、10月に実施。(参加者77人)</p> <p>■中・高齢の障がい者を対象に、身体機能・残存機能の維持、介護予防を目的としたプログラムとして、「いきいき健康体操」を月2回定期的に実施することができた。</p> <p>【自主事業】</p> <p>■事業団が運営する「こども発達支援センター青空」の療育のノウハウとスポーツセンターの身体活動プログラムのノウハウを融合させ、身体活動プログラムアドバイザー事業を実施し、就学時前の発達障がい児の総合的な支援に努めている。 年間10回の開催。</p>			
(5)施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	<p>① 施設の維持管理を迅速かつ効率的に行っているか</p>	<p>①</p> <p>■館内の設備については常に点検をし、不具合等があれば迅速に応急措置を講じ、大阪府へ連絡を行っている。</p> <p>■トレーニング機器については、日常的な点検に加え、年1回専門業者による機器点検を実施し、事故防止に努めている。</p> <p>■トレーニング室の新規利用希望者については、使用前に安全な機器の使用方法を理解していただくための講習会を実施している。また、スポーツや文化事業で使用する器具や道具類については、利用前に使用上の注意を行って、安全管理の徹底を図っている。</p> <p>■設備機器の点検保守については、専門的な知識と技術を要することから、第三者である専門業者に業務委託を行い、良好な状態を維持している。また、日常的に操作パネルのエラーメッセージや異音等に注意を払い、不具合や異常を確認した際には、応急処置並びに専門業者への修繕の手配など、迅速な対応を行っている。 ※業務委託設備</p>		<p>①建物や機器については定期的な点検を実施し、適切な施設管理に努めている。また、保守点検契約を締結し、迅速かつ効率的な施設管理が行われている。</p>	

		<p>昇降機保守、消防設備保守、自動扉保守、空調機器保守、 吸収式冷温水機保守、ガスヒートポンプエアコン保守、 受変電設備保守、構内電話設備保守</p> <p>なお、保守契約の締結にあつては、事業団経理規程に基づき、適切に契約を行っている。</p> <p>② 利用者の安全対策は万全か</p> <p>③ 緊急時の危機管理体制を整備しているか</p>	<p>昇降機保守、消防設備保守、自動扉保守、空調機器保守、 吸収式冷温水機保守、ガスヒートポンプエアコン保守、 受変電設備保守、構内電話設備保守</p> <p>なお、保守契約の締結にあつては、事業団経理規程に基づき、適切に契約を行っている。</p> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ■災害時に利用者の避難誘導が迅速に行えるよう、年1回の事業団総合防災訓練と稲スポーツセンター消防計画に基づく年2回の消火訓練と避難訓練を実施している。 ■防犯対策として、来館者への挨拶・来館目的等の問いかけの声掛け、ヘルパーには職員証の掲示を義務付け、緊急時に笛を携帯するなど職員の意識を高めるようにしている。 ■職員は普通救命救急講習会を受講し、心肺蘇生法、AED の使用法を習得している。 ■ヒヤリハット事例が発生した場合は、リスクマネジメント委員会を設置しており、すみやかに対応会議を開催し、発生因子を分析、それらの情報を共有することで、利用者の事故の未然防止に努めている。 <p>「稲スポーツセンター事業における事故防止マニュアル」及び「施設利用者の事故防止についての心得」を作成、周知徹底し、事故防止に努めている。</p> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業団危機管理マニュアル、事業団防災計画を整備し、全職員が災害等の緊急時に即応できるようにしている。また、あいあいプラザ内の当法人3施設間で、緊急時・災害時における避難場所の協力や連絡網の整備をしている。また、当法人と（社福）大阪府社会福祉事業団の間で「緊急時相互連携協定書」を締結し、災害時の相互支援体制を構築している。 ■利用者のケガや発作等、救急搬送等を要する場合の「稲スポーツセンター緊急時マニュアル」に基づき、迅速な対応ができる体制を整備している。 	A	<p>②利用者の安全対策については、避難訓練の実施、事故防止マニュアルの活用、ヒヤリハット事例の収集・分析・共有などにより、事故発生防止に努めている。</p> <p>③指定管理者として危機管理マニュアルを整備し、あいあいプラザ内の3施設で、連携・協力できる体制にしている。</p>	A	
(6)府施策との整合	① 府の協力要請に対応しているか	①	<ul style="list-style-type: none"> ■大阪府の指定を受け、相談支援従事者研修及びサービス管理責任者等研修を実施すると共に、研修への講師並びにファシリテーターを派遣して、大阪府内における従事者等の養成に協力した。(年間計画数 相談：20回延767人、サービス管理責任者研修：17回延524人) ■大阪府の発達障がい児療育支援事業の療育拠点2センターを委託運営している。 ■大阪府主催の強度行動障がい支援者養成研修に講師並びにファシリテーターを派遣して支援者養成に協力した。 ■関係機関と連携のもと、緊急一時保護や被虐待児童、他事業所では 		①府主催事業や取組みに対し、積極的に協力している。		

		<p>② 障がい者等就労困難者を積極的に雇用しているか</p> <p>③ 知的障がい者による清掃作業を実施しているか</p> <p>④ ボランティアや協力団体との協働事業を行っているか</p>	<p>対応困難とされる児童の受け入れを積極的に行っている。</p> <p>■南河内南圏域の高齢化するグループホーム利用者の支援体制の充実を図るため、併設事業所と協力し介護保険における訪問介護事業（居宅介護支援、訪問介護・介護予防訪問介護・総合事業サービスA）を実施している。</p> <p>■金剛コロニーの再編整備については、大阪府と協議・協力しながら取り組み、利用者の生活する建物の整備については昨年度で終了した。今後は、ライフラインや不要建物の撤去に伴う協議を行う。</p> <p>1)平成 25 年度に策定された「大阪府立金剛コロニー基本構想」及び「金剛コロニー再編整備について」に基づき、老朽化したライフラインの調査、改修計画の検討、敷地管理の方策の検討等を行っている。施設等の整備に関しての具体的な取り組みは以下のとおりである。</p> <p>◇レクリエーションセンターの改修工事 ◇総合管理棟、クリーニングセンター及びエネルギーセンターの撤去工事 ◇閉寮した建物・給排水設備・自活訓練棟管理</p> <p>■平成 25 年度に事業団改革中期計画（25 年度から 29 年度）を策定し、計画に基づいた取り組みを進め、予定通り平成 28 年度末を持って完全民営化を図った。</p> <p>1)府立金剛コロニーの再編整備 2)グループホーム利用者の高齢化・重度化対応 3)民営化に向けての職員への周知、意識改革、職員のモラルの向上 4)利用者の自己選択、自己決定に基づく支援のための、より高い専門性を有する職員の育成 5)経営基盤の安定化等</p> <p>■「地域における障害者スポーツ普及促進事業」のスポーツ・レクリエーション教室を開催している。（参加者：163 人）</p> <p>② ■法定雇用率 2.0%を上回る 2.52%の雇用率を維持している。 (6/30 現在)</p> <p>■障がい者等就労困難者を南大阪南障害者就業・生活支援センターを通じて、新たに 1 人雇用し、法人で 4 人雇用している。</p> <p>③ ■知的障がい者を直接雇用し清掃作業を実施している。 稲スポーツセンター、しいのき寮・すぎのき寮、法人事務局</p> <p>■大阪府の福祉事業所における工賃向上に向けた取り組みを推進するため、稲スポーツセンターの定期清掃業務等委託。 (年間で館内清掃 3 回、空調機フィルター清掃 2 回、敷地内清掃 2 回(屋外)を障がい者事業所に委託)</p> <p>④ ■各種事業の開催にあっては、専門的な知識や技術を有するボランティア等の協力を得ながらプログラムを提供している。 (1)スポーツ事業 個人ボランティア (5 人)：ビームライフル、卓球、バスケットボール、ショ</p>	A	<p>②障がい者就業・生活支援センターを活用して、障がい者等就労困難者を新たに 1 名雇用し、法人全体で計 4 名を雇用している。</p> <p>③知的障がい者を雇用し、清掃作業を実施している。</p> <p>④提案どおり実施している。</p>	A	
--	--	--	---	---	--	---	--

		<p style="text-align: center;">ートテニス</p> <p>協力団体 (3 団体) : 箕面市卓球協会 (卓球クラブ練習会、卓球教室、卓球大会) 箕面市テニス協会 (ショートテニス教室) 大阪府障害者ライフル射撃協会 (ビームライフル)</p> <p>(2)文化事業 個人ボランティア (5 人) : 音楽関係教室、クラフト教室、手作りおやつ教室、ふれあいコンサート、クリスマスコンサート</p> <p>協力団体 (3 団体) : 大阪ラフタークラブ(ラフタークラブ)、風の宴(ジャンベクラブ)、公益社団法人 顔と心と体研究会 (メイクアップ 体験会)</p> <p>■公益財団法人大阪府レクリエーション協会との共催事業を開催し、地域における障がい者スポーツの普及・促進を図る。 H29.7.30 参加者 77 名 H29.11.3 参加者 54 名</p> <p>⑤ ■大阪府障害者福祉事業団節電・省エネ実行基本方針に基づき、それを実効あるものとするために各事業所に節電・省エネ推進担当者を置き節電・省エネに取り組んでいる。(I-(1)-②の再掲)</p> <p>1)エアコンの使用については、冷房 28 度・暖房 20 度の設定を行っている。 2)デマンド監視装置を設置し、使用電力量の抑制に努めている。 3)使用していない部屋や箇所の電灯をこまめに消し、休憩時間中は消灯、節電に努めている。 4)事業所内の節水に努めている。 5)コピー用紙の使用は両面印刷を基本とし省資源に努めている。 6)段ボールや古新聞などは、回収し、リサイクル事業所等に提供している。 7)行政の指導を踏まえごみの分別収集を実施している。 8 府立)障がい児施設以外での LED 化を実施し、使用電力の削減に努めている。</p>				⑤提案どおり取り組んでいる。
--	--	--	--	--	--	----------------

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価 S~C	施設所管課の評価	評価 S~C	評価委員会の指摘・提言
------	-----------	------------	-----------	----------	-----------	-------------

<p style="writing-mode: vertical-rl;">さらなるサービスの向上に関する項目</p>	(1)利用者満足度調査等	<p>利用者の意向を尊重した運営に取り組んでいるか (利用者満足度調査結果の活用)</p> <p>【指標】 利用者満足度調査結果 (前年度との比較)</p>	<p>■教室終了後のアンケート調査 H29 年度 配付数:10 教室 (11 月末) 121 人、回収数:66 人 (54.5%) ()内は、H28 年度実績 17 教室 (年間) 143 人 回収数:95 人 (66.4%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>大変満足</th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> <th>普通</th> <th>やや不満</th> <th>不満</th> <th>大変不満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施内容</td> <td>47.0% (50.5%)</td> <td>40.9% (40.0%)</td> <td>4.5% (4.2%)</td> <td>7.6% (4.2%)</td> <td>0.0% (0.0%)</td> <td>0.0% (1.1%)</td> <td>0.0% (0.0%)</td> </tr> <tr> <td>指導方法</td> <td>51.5% (52.6%)</td> <td>36.4% (37.9%)</td> <td>6.1% (2.1%)</td> <td>4.5% (6.3%)</td> <td>0.0% (0.0%)</td> <td>0.0% (1.1%)</td> <td>0.0% (0.0%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>利用者からのご意見・要望への対応</p> <p>(1)教室の開催回数を増やしてほしい。 ⇒ 教室は、土日祝が主体になっており、コマ数に制限があるため、開催数の制限がある。並行開催や平日の開催も視野に入れ、検討していく。</p> <p>(2)新規教室の開催。 ⇒ 上記同様、枠に制限があるため、限られた枠内で、内容も含めて、今後も検討していく</p> <p>(3)下足箱が不足している。 ⇒ 新規下足箱設置完了。</p>		大変満足	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	大変不満	実施内容	47.0% (50.5%)	40.9% (40.0%)	4.5% (4.2%)	7.6% (4.2%)	0.0% (0.0%)	0.0% (1.1%)	0.0% (0.0%)	指導方法	51.5% (52.6%)	36.4% (37.9%)	6.1% (2.1%)	4.5% (6.3%)	0.0% (0.0%)	0.0% (1.1%)	0.0% (0.0%)	A	<p>アンケートや利用者満足度調査を実施し、満足度や利用者ニーズを把握・分析し、利用者の要望を運営に活かすべく取り組んでいる。</p> <p>利用者満足度調査結果については、「とてもよい」又は「よい」の回答が8割以上となっている。</p>	A	<p>教室終了後のアンケート回収率が非常に低い (昨年の 2/3)。この点は改善すべきであり、アンケート回収率を上げる方法を検討すること。</p> <p>利用者満足度調査において、厳しいご意見も頂いている。利用者の声を真摯に受け止め、施設運営に活かすこと。</p>
			大変満足	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	大変不満																						
実施内容	47.0% (50.5%)	40.9% (40.0%)	4.5% (4.2%)	7.6% (4.2%)	0.0% (0.0%)	0.0% (1.1%)	0.0% (0.0%)																								
指導方法	51.5% (52.6%)	36.4% (37.9%)	6.1% (2.1%)	4.5% (6.3%)	0.0% (0.0%)	0.0% (1.1%)	0.0% (0.0%)																								

			<p>■利用満足度アンケートの実施 12月に実施予定(12/9~12/23)</p>				
	(2)その他創意工夫	サービスの向上や利用者の増加に向け、提案以上の創意工夫を行っているか	<p>■利用者からの要望や苦情については「ご意見箱」を設置し、意見を収集するとともに、随時アンケート調査を実施するなど、利用者に満足いただけるプログラム提供と障がい特性に応じた支援に役立っている。(I-(1)-①の一部再掲)</p> <p>■プログラム実施前に職員とボランティア講師とでミーティングを行い、指導上の配慮の確認及び安全確保を徹底するとともに、プログラム実施後には支援方法等についての振り返りや次回に向けた打ち合わせなどを行い支援の向上を図っている。(I-(2)-②-(4)の再掲)</p> <p>■情報発信をできるだけ多くできるよう、掲示板の活用をしている。(増設)</p> <p>■不足していた2F下足箱を増設して設置し、利用しやすいよう配慮している。(II-(1)の再掲)</p>	A	個々の利用者に対する配慮や、利用者の要望を把握し、不足していた2F下足箱の増設など、サービス向上に取り組んでいる。	A	
目適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目	(1)安定的な運営が可能となる人的能力	<p>① 職員体制は十分か</p> <p>② 職員採用、確保の方策は適切か 職員の指導育成、研修体制は十分か</p>	<p>①</p> <p>■稲スポーツセンターでは、事業計画に基づき、利用者の安全、安心、サービス向上の観点から、正規職員3人と常勤の非正規職員2人を配置しており、土・日・祝の事業の集中日には2人の非正規職員を配置を行っている。</p> <p>スポーツ・文化事業の重なる時間帯については安全面の配慮や個別対応の必要な障がい者の増加も考えられるので、大阪府に確認の上、非正規職員2人の契約合計時間を24H/月から76H/月以内に変更した。</p> <p>②</p> <p>大阪府障害者福祉事業団</p> <p>■職員の募集については、事業団のホームページに募集案内を掲載するほか、大学や専門学校に募集案内を送付するとともに、ハローワーク、福祉人材センターの活用、福祉就職フェアへの出展、事業所の見学会など幅広く行っている。</p> <p>■今年度は福祉分野に力を入れている7校の大学・短期大学と協議し、指定校推薦枠を創設した。(平成29年11月末現在採用実績：3名)</p> <p>■職員の採用については、正規、非正規を問わず筆記と面接による選考試験を実施し有能な人材の確保に努めている。</p> <p>■勤務地域を限定した指定職職員(正規職員)の募集を平成27年度から実施している。(平成29年11月末現在採用実績：23名)</p> <p>■今年度は採用基準を満たす人材の確保が困難であり、採用試験を毎月開催し職員の確保に尽力している。(平成29年度採用試験実施回数：5回、採用者数23名)</p> <p>■社会福祉士や介護福祉士等国家資格を有する者を面接試験のみで採用できるよう随時採用の制度を今年度新たに創設した。</p> <p>■非正規職員について、事業所もしくは地域単位による時間給の設定</p>	A	<p>①事業運営に必要な職員体制となっている。</p> <p>②適切に実施されている。</p>	A	

		<p>③ 職員の指導育成研修体制は十分か</p>	<p>を検討するとともに、時間給の変更に即応できるよう規則等の整備を行った。</p> <p>稲スポーツセンター ■スポーツに興味・関心があり、身体を動かすことが好きな職員の配置に努めている。</p> <p>③ 大阪府障害者福祉事業団 ■事業団理念、職員倫理綱領等の主旨を徹底し、管理監督者の率先垂範による職員の意識改革と定期的な面談による育成を行っている。 ■研修体制については、新人職員・中堅職員の枠組みを明確にし、「職員の資質の向上」「人材の育成」「専門性分野別研修の充実」を重点取り組みとして、研修計画を整備し充実を図っている。特に1～4年目職員の人材育成システムを構築し、現状の職場環境における事例検討なども含めたディスカッション形式を取り入れるなど研修の充実を図っている。</p> <p>稲スポーツセンター ■障がい種別を問わず利用できる施設であるので、さまざまな障がいの知識を勉強する機会が必要である。できるだけ、研修の参加を促していきたい。 また、障がい者スポーツのさかんな団体や協会主催の研修などにも参加してスポーツ促進を図りたい。 現在：障がい者スポーツ初級指導員配置数 2人 新たに、H29年度中に1名取得予定。</p> <p>■外部団体主催研修への参加 ○大阪スポーツ・運動指導者セミナー 6/5・7/29・8/5・9/2・10/14 1人 ○発達障がいとレクリエーション 12/6 1人 [今後の研修・講習予定] ○障がい者スポーツ初級指導員講習会(3月) 1人</p> <p>■事業団内研修 ○障がい児者基礎研修 5/12 1人 ○障がい児発達委員会内研修 月1回 1人</p>		<p>③計画的な研修実施に努めている。</p>		
<p>(2)安定的な運営が可能となる財政的基盤</p>	<p>① 運営基盤として、経営規模、事業規模、組織規模等は十分か</p>	<p>① ■こんごう福祉センターの他大阪府内17の事業所で福祉サービスを開し、いずれの事業所も安定運営できており経営規模、事業規模、組織規模ともに適切な規模である。</p>			<p>①②公認会計士の意見を参考に、所管課にて評価。</p>		<p>財務内容は非常によく、運営基盤に問題なし。</p>

		<p>② 運営基盤として、財政状態は適正か</p> <p>【指標】 自己資本比率、流動比率、固定比率、総資本経常利益率、固定長期適合率</p>	<p>②</p> <p>■社会福祉法人として、収支のバランスのとれた安定運営を行っており、財務状態は適正である。</p> <p>■平成 25 年度から 29 年度の「事業団改革中期計画」を策定し、長期的、安定的に持続可能な経営となるよう収支計画をたて、建物などの将来的な建て替えや、設備等の維持更新のための積み立てを計画的に行っている。</p>	A		A	
--	--	---	--	---	--	---	--